

民間等における認証方法の例

(1) インターネットを用いた手続・サービスの場合

認証レベル	事例(本人確認方法)	初期登録方法	左の手段により防止されるリスク
第三者による認証	公的な認証基盤を用いた行政手続(電子申請)(住基カード等+電子証明書+パスワード)	住所・氏名等の記入+写真付き身分証明書を市町村の窓口本人が持参	・本人以外がなりすましにより不正な行政手続等を行うことを高いセキュリティレベルで防ぐ。本人が写真付き証明書を元に行政窓口で手続の上、公的な電子証明書を発行する。
	民間の認証基盤を用いた行政手続、民間手続(電子証明書+パスワード)	住所・氏名等の記入+公的な電子証明など	・本人以外がなりすましにより不正な手続等を行うことを防ぐ。初期登録時の本人確認が公的な電子証明書なので、セキュリティレベルが高い。
	民間の認証基盤を用いた行政手続、民間手続(電子証明書+パスワード)	住所・氏名等の記入+印鑑証明+住民票+商業登記簿謄本+公共機関への提出書類など	・本人以外がなりすましにより不正な手続等を行うことを防ぐ。
	クレジットカードを用いた支払(カード番号+有効期限+与信照会(+本人への利用明細の送付))	住所・氏名等の記入+身分証明書(写真の無いものでも可)のコピー+通帳印の捺印+カードの郵送	・本人以外がなりすましによりカードを不正に使用することを防ぐ。 ・失効しているカードの利用を防ぐ。
当事者間の認証(初期登録内容との照合を行う)	ネット証券(認証方式(セキュリティコード方式、電子証明書方式)を利用者が選択できる。)	住所・氏名等の記入+署名・捺印+公的な身分証明書類+郵送(配達記録郵便)	・本人以外がなりすましにより不正に取引を行うことを防ぐ。
	ネットバンキング(ID+生体認証・パスワード+第2パスワード)	住所・氏名等の記入+署名・捺印+運転免許証・健康保険証・住民票などのコピー1つ(住所・氏名・生年月日の確認)+電話・電気・ガス・水道などの請求書や領収書の原本1つ(住所・名字の確認)+カード・パスワード等の郵送	・本人以外がなりすましにより不正に預金の引き出し等を行うことを防ぐ。
	会社のパソコンや社内ネットワークへのログイン(ICカード+生体認証・パスワード)	入社時に住民票・履歴書等を提出	・本人以外が、パソコンや社内ネットワークから機密情報を盗んだり、不正な利用を行うことを防ぐ。
	ネットオークション(ID+パスワード(+評判システム+エクスロー決済))	ID登録(氏名、メールアドレスなど)+メールアドレス認証+住所確認(郵送)など	本人以外が不正にサービスを利用することを防ぐ。
	パスワードを忘れた場合の再取得(予め設定した質問(ペットの名前など)への回答+メールアドレスへの通知)	メールアドレス及び本人のみが知っている回答の登録	本人以外が不正にパスワードを入手することを防ぐ。
	掲示板への書き込み(ID+パスワード+本名による発言+ログの保存など)	氏名、メールアドレスなど	事前登録によりなりすましを抑止するが、完全に防ぐことは難しい。
当事者間の認証なし	掲示板への書き込み(匿名、ログの保存)	なし	なりすましを防ぐことは難しい。
	メールマガジン(登録したメールアドレスへ送付)	メールアドレスの登録	他人が勝手に登録することを防げない(メルマガ到着後、本人が登録抹消を申請する)。

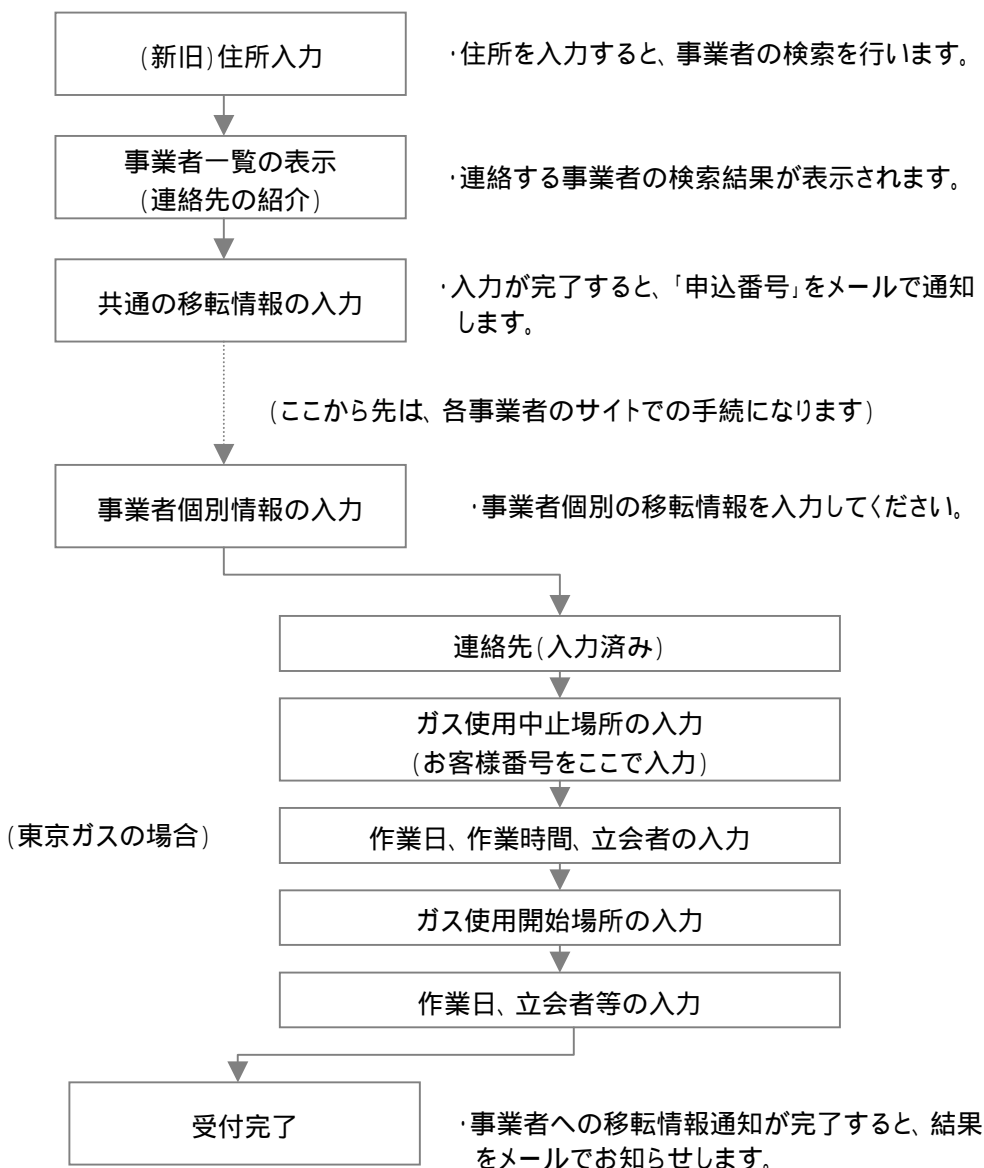
(2) 対面等による手続・サービスの場合

認証レベル	事例(本人確認方法)	初期登録方法	左の手段により防止されるリスク
第三者による認証	入出国審査(パスポート)	住所・氏名等の記入 + 戸籍謄本 + 写真付きの身分証明書(または健康保険証など + 年金手帳などの組合せか、健康保険証・年金手帳などを1つ + 写真付きの学生証・会員証などを1つの組合せ) + 葉書の郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・本人以外がなりすましにより不正に入出国するのを防ぐ ・入出国資格のチェック
	交通違反(運転免許証)	住民票 + その場で写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・違反時に他人になりすますことを防ぐ
	不動産登記(印鑑証明 + 印鑑)	印鑑証明・・・写真付き身分証明書 + 登録する印鑑の持参	<ul style="list-style-type: none"> ・権利者に無断で勝手に不動産登記が行われることを防ぐ
	クレジットカードでの支払(クレジットカード + 署名)	住所・氏名等の記入 + 身分証明書(写真の無いものでも可)のコピー + 通帳印の捺印 + カードの郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・本人以外がなりすましによりカードを不正に使用することを防ぐ ・失効しているカードの利用を防ぐ
当事者間の認証(初期登録内容との照合を行う)	会社の入退室管理(ICカード + 暗証番号(+ログ))	入社時に住民票・履歴書等を提出	<ul style="list-style-type: none"> ・本人以外が社内に侵入して、機密情報や金品を盗んだり、不正な行為を働くことを防ぐ ・入退室記録による社員の犯罪の抑止
	銀行預金の引き出し(キャッシュカード + 暗証番号)	住所・氏名等の記入 + 押印 + 身分証明書(写真の無いものでも可)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人以外がなりすましにより不正に預金の引き出し等を行うことを防ぐ
	自転車(ダイヤル式錠による施錠)	ダイヤル番号の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・盗難防止
	宅配便の受け取り(指定の住所 + 認印)	発送者が住所、氏名、電話番号を記入	<ul style="list-style-type: none"> ・誤配達防止
当事者間の認証なし	自宅や私書箱への郵送	住所・氏名の通知	<ul style="list-style-type: none"> ・誤配達防止
	定期券	住所・氏名等の記入(学生の場合は学生証などを提示)	<ul style="list-style-type: none"> ・紛失、拾得時の確認程度(学生の場合は、学割定期発行資格の確認)
	Suica、Edy、プリペイドカード	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が紛失したら対応策はない(現金と同じ)

参考：官民連携ポータル事例における認証例【引越れんらく帳】

手続手順及び項目		行為	誰が	どんな手段で	何を確認しているのか	
引越手続	引越れんらく帳サイトでの手続	住所入力	ウェブから新旧住所(「丁目」まで)を入力	利用者	ウェブから	新旧住所による手続と事業者の絞り込み
		事業者の選択	手続可能な事業者一覧が表示されるので、その中から手続する事業者を選択	利用者	ウェブから	
		共通情報の入力	各手続に共通する情報を入力(氏名、新旧の住所、電話番号、メールアドレス、昼間の連絡先)	利用者	ウェブから	本人の自己申告(移転前と移転後の情報について)
		申込番号の送付	メールで「申込番号」(18桁)が送られてくる (手続後の状況確認の際には、この申込番号で本人確認を行う)	サイト管理者	メール	メールアドレスが正しいこと、メールアドレス所有者による利用であることの確認
	利用者			メール	申込登録手続完了の確認(共有情報の登録まで)	
	各事業者のサイトでの手続	事業者ごとに必要な情報の入力(お客様番号など)	各自業者ごとに必要な情報をそれぞれのサイトに飛んだ後に入力(共通情報は入力済みになっている)	利用者	ウェブから	特にお客様番号の入力により、本人確認(各事業者による独自の本人確認)
		手続の完了	全ての必要情報を入力、確認したら手続完了	利用者	ウェブから	入力情報の確認
メールで通知		手続完了を登録したメールアドレスに通知	各事業者	メール	メールアドレスが正しいこと、メールアドレス所有者による利用であることの確認	
	利用者		メール	手続完了の確認		
手続状況確認	引越れんらく帳サイトでの手続	ログイン	申込番号が送られてきたメールに添付されているURL、または申込番号、メールアドレス、昼間の連絡先を用いてログイン	利用者	ウェブから	申込番号等により、本人確認
		手続状況の確認、変更など	手続状況の確認や変更などを行う	利用者	ウェブから	状況確認、内容変更など

参考:「引越れんらく帳」の手の続の流れ



引越れんらく帳画面例



東京ガスの手続サイトの画面例

注:引越れんらく帳サイト内の説明資料をもとに作成。

参考：官民連携ポータル事例における認証例【関西引越し手続サービス】

手続手順及び項目		行為	誰が	どんな手段で	何を確認しているのか	
引越手続	関西引越し手続サービスサイトでの手続	住所入力	ウェブから新旧住所(「町域/大字名」まで)を入力	利用者	ウェブから	新旧住所による手続と事業者の絞り込み
		事業者の選択	手続可能な事業者一覧が表示されるので、その中から手続する事業者を選択	利用者	ウェブから	
		共通情報の入力	各手続に共通する情報を入力(氏名、新旧の住所、電話番号、メールアドレス、昼間の連絡先)	利用者	ウェブから	本人の自己申告(移転前と移転後の情報について)
		申込番号の送付	メールで「サービス受付番号」(10桁)、「アクセス番号」(4桁)が送られてくる (手続後の状況確認の際には、この番号で本人確認を行う)	サイト管理者	メール	メールアドレスが正しいこと、メールアドレス所有者による利用であることの確認
	利用者			メール	申込登録手続完了の確認(共有情報の登録まで)	
	各事業者のサイトに移動		事業者ごとに必要な情報の入力(お客様番号など)	各自業者ごとに必要な情報をそれぞれのサイトに飛んだ後に入力(共通情報は入力済みになっている)	利用者	ウェブから
	各事業者のサイトでの手続	手続の完了	全ての必要情報を入力、確認したら手続完了	利用者	ウェブから	入力情報の確認
完了後の連絡		事業者毎に異なる	-	-	-	
手続状況確認	関西引越し手続サービスサイトでの手続	TOPメニューより	サービス受付番号/アクセス番号により、手続きの履歴を表示	利用者	ウェブから	申込番号等により、本人確認
		手続状況の確認、変更など	手続状況の確認や追加手続などを行う	利用者	ウェブから	状況確認、追加手続など

引越れんらく帳との違いは、個人情報を持たない点。受付番号は手続履歴としか紐付けされていない。